

F-wave

藤沢市市民活動支援施設情報誌「エフ・ウェーブ」

特集：大学の「社会貢献活動支援室」とは？



辻堂にある湘南工科大学には、「社会貢献活動支援室」（以下、同室）があります。今でこそ多くの学校が社会貢献やボランティアの部署を持つようになりましたが、同室は昨年で20周年と、長い歴史を持っています。室内には関連する展示物が並べられ、多様な活動に参加されていることが見てとれます。今号では、近隣の教育機関における市民活動に関わる取組をお伝えすべく、担当している電気電子工学科教授の水谷光氏と、同室特任講師の森田恵氏、同室の実習プログラム（以下、プログラム）に参加する学生たちにお話をうかがいました。

湘南工科大学は「社会に貢献する技術者の育成」をミッション

に掲げており、実現につながる仕組みとして同室が設置されました。水谷氏によると、「設置当初、大学としては専門科目のフィールドワーク分野という位置づけで、工学と関連する実習先に加えて、福祉や環境保全などを工学に結び付ける方向性でスタートしました」とのことです。現在はプログラムにおける学生の成長を重要視しており、社会人基礎科目というカリキュラムの一部となっています。実習先における50時間以上の活動のほか、事前・中間期研修会、報告会で学生同士が目標や成果を共有していきます。年間50名程度の学生がプログラムを履修しています。

（つづく）



大学の「社会貢献活動支援室」とは？

取材当日は大学祭である松稜祭のミーティングを行っており、同室内には企画を担当する学生の姿もありました。プログラム参加の理由は様々で、張り紙やガイダンスがきっかけであったり、中でも人間環境学科の酒井さんは、「高校時代に障がい者の式典に参加した際、知り合った人が社会貢献活動支援室を紹介してくれました」とのことで、大学を選ぶ理由にも関わっていました。実習先は自然や生き物に興味があれば里山保全、機械に興味があればロボットの体験スペースなど、学生の希望に応じて選ぶことができます。

学外のプログラムということで、人とのつながりや見識が広がるきっかけにもなっています。総合デザイン学科の宮間さんは、実習先であった茅ヶ崎里山公園倶楽部に会員として入会しました。卒業研究のテーマでも実習先と深くかわり、地域の発展や活性化に関する地域デザイン研究の中で、同団体の方の協力を得ながら進めています。また、現在同じ茅ヶ崎里山公園倶楽部で実習をしている電気電子工学科の長谷川さんも、「里山の知恵や生き物に実際の土地に触れることで、身に付くことも多いです」と語り、活動の現場から多くのことを吸収している様子でした。



同室内の展示物の一部

学外で地域の人々と接しながら進めるプログラムの意義について、森田氏曰く、「学内であれば授業の出来で評価されますが、実習先ではまた違った視点で人となりも含め評価され、



実習テーマ「辻堂防災活動サポート」での様子

本人たちも自分に自信を持つきっかけにできているようです」とのことです。電気電子工学科の有賀さんも、「卒業していきなり社会人になる前に社会に触れられる、貴重な機会だと感じています」と語り、実習で念頭に置かれている学生の成長について、教員も学生自身も意識しながら進めていることが感じ取れました。

教員のお二方に実習を進める上での喜びを伺うと、水谷氏からは「学生が楽しそうであればこちらも楽しくなります。そういう意味では普通の授業とは違いますね」とのこと。森田氏からはそれに加え、「彼らの活動により地域の人が喜び、新たな気付きを得てくださることで、大学も市民社会の一部となっていることを実感できます」とお話しいただきました。

松稜祭は、今年は10月28日・29日の実施です。今年は久々に入場制限もないとのことで、学生たちはより盛り上げるべく、熱意を持って企画に取り組んでいました。「地域にこんな活動がある、大学でこういう活動をしている、学生も市民活動に参加していることを知ってほしい。実習先で得た知識や経験を来場者が体験できるような内容にするので、ぜひ多くの人に来てもらいたい」とのことです。

(取材と記事作成：関野)

団体紹介

湘南工科大学 社会貢献活動支援室

【設置】2002年

【連絡先】〒251-8511 神奈川県藤沢市辻堂西
海岸1-1-25 湘南工科大学4号館1階(4110室)

【メール】shakou@center.shonan-it.ac.jp



「社会に貢献する技術者の育成」という湘南工科大学のミッションの実現に向けて、「社会貢献活動」は2002年度より始まりました。これまでに約170の実習テーマで1700名以上の学生が参加しています。学生は活動を通じて社会人基礎力や自身の主体性、市民性の育みを行い、50時間以上の実習を行う中で「社会の中で貢献できる力」を醸成します。地域においても、学生参加による市民活動の維持・促進の場となっています。

※現在、新規実習先は募集していません



藤沢市市民活動支援施設では、ウェブサイト上で事業報告書を公開しています。今回のNPOTIPSでは、昨年度（2022年度）の利用傾向から、主に本館（推進センター）が空いている時間、混んでいる時間についてお伝えします。

曜日別の傾向

全体的な傾向として、平日のほうが休日より混雑しがちです。最もご利用が多いのは水曜日で、金曜日がそれに続きます。ご利用が少ないのは土曜日で、日曜日が続きます。半面、会議室の利用が多いのは金曜日ですが日曜日・土曜日がそれに続きます。フリースペースは平日が混雑していて、週末にかけて会議室の利用が多くなっています。

時間帯別の傾向

午前、午後、夕方以降に分けると、午前中は10時以降、午後は14時前後の時間が混雑する傾向があります。フリースペースは午前中に混雑することが多く、会議室のご利用は午後のほうが

多くなりがちです。コロナ禍以降、夕方以降のご利用が少なく、フリースペース、会議室ともに遅い時間のほうが空きがある状況です。

曜日・時間帯別の傾向

日中で最も混雑が集中するのは金曜日の午前中、最も空いているのは土曜日の午前中です。曜日別では最もご利用が多い水曜日ですが、比較的夕方以降のご利用が多いため、日中は土曜日に次いで空いている曜日となります。

混雑している曜日・時間

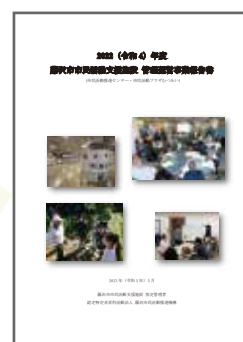
平日午前中のフリースペース、平日・休日を問わず午後の会議室が混雑傾向にあります。

団体のペースやメンバーの都合次第ではありますが、目安として知って頂ければ幸いです。

新型コロナウイルス感染症も感染症法上の5類へと移行してからは、イベント等も従来規模や開催方法に戻ってきています。施設のフリースペースに

関しても、満席になる場面が増えてまいりました。

2023年度からは、開館時間が変更になりました。本館は平日・土曜日はこれまで通り9:00～22:00ですが日曜日と祝日のみ9:00～20:00になりました。分館は曜日問わず9:00～17:00となっています。休館日は本館が火曜、分館が月曜となっていますので、祝日による休館日の移動がなければ、どちらかは必ず使えるようになっています。(せ)



学生とボランティア

なぜなに

NPO

vol.169



昨年まで近隣の大学でボランティア論の授業を担当していました。授業は半期14回あり、ボランティアにまつわる多様な情報を実践も交えて伝えていました。当時は、学生ボランティア団体という形で活動していた学生も多く、学内のボランティアセンターに出入りする学生の数も多く、「Gakuvo」という学生のためのボランティアサイトには、学生を中心にした、若い世代へのアプローチが掲載されていました。市民活動推進センターでは、地域とワカモノのインターンシップ事業を実施しており、学生の皆さんとも接点の多い活動を実施していました。当時の学生のボランティア行動率は3割に近い数字が出ていました。

そして、2020年度の新型コロナの感染拡大によるボランティア活動への影響は大変大きく、センターは閉館し、大学の授業そのものも全てオンラインとなりました。実践のないボランティア論はどのようにすべきか、そもそもオンラインの授業は成立するのかわかりませんでした。そこから3年間は、常に試行錯誤の連続でしたが、学生の皆さんもどどん環境に慣れ、「できるときにできるコトを」や「今、動いている人がいる」を合言葉に地域で活動を続けている市民の行動を紹介し続けました。真っ暗

な画面に向かって一人でお話をするという形式の授業でしたが、授業中のリアクションや課題レポートの内容は、対面の授業ではなかなか出にくかった「自分らしさ」が出ていたように思えました。しっかりと伝わったと感じています。

どんな時代になっても、家族や関係者以外の人とも交わって生きていくことに変わりはありません。できるだけ早い時期に様々な経験や体験そして実践を重ねることで、生き抜く底力が養われます。コロナ禍を通過中に伝えていた「できるときにできるコトを」や「今、動いている人がいる」はまさに、混沌とした現代社会の中で、羽ばたこうとしているワカモノに送りたい言葉となりました。

センターでは『VOLUNTEERS 2023夏号』を発行しました。44件のボランティア情報が掲載され、「私のボランティアな時間割」として、10歳代～70歳代まで様々な年代の方の時間の使い方を特集しました。是非一度手に取ってみてください。(て)

※WEB版にはさらに追加の情報が 있습니다。
(<https://fujisawa-npo.jp/volunteer>)

講座・イベントの

ごあんない

イベント

日時

■マネジメント講座「非営利団体のインボイス制度 直前対策講座」	8月27日(日) 13:30～15:30
■マネジメント講座「資金を手に入れよう！助成金・クラウドファンディング・金融機関の活用方法」	9月2日(土) 13:30～15:30
■藤沢市民まつり関連の募集事項	8月31日(木) 22:00 締切
■湘南台駅地下パネル展示「私たちの市民活動紹介」	9月22日(金) ～10月9日(月)

NEW!

支援施設からのお知らせ

■マネジメント講座

「非営利団体のインボイス制度 直前対策講座」

税理士から解説。NPO 法人や任意団体、インボイス制度導入の必要性の有無や実務、疑問点を全体で共有する制度対策講座

日時：2023年8月27日(日) 13:30～15:30

会場：市民活動推進センター会議室またはオンライン

料金：1,000円 ※学生・18歳以下は無料 定員：30名

対象：公益的な市民活動を行っている団体や個人。興味のある方。

講師：税理士 荻野直也 氏

主催：藤沢市市民活動推進センター



■マネジメント講座「資金を手に入れよう！助成金・クラウドファンディング・金融機関の活用方法」

クラウドファンディングや助成金、金融機関融資を活用して資金調達する方法を学べる講座

金融のプロによるアドバイスもあります。

日時：2023年9月2日(土) 13:30～15:30

会場：市民活動推進センター会議室またはオンライン

料金：1,000円 ※学生・18歳以下は無料 定員：30名

対象：公益的な市民活動を行っている団体や個人。興味のある方。

講師：手塚明美 氏 (認定NPO法人藤沢市民活動推進機構 理事長)

主催：藤沢市市民活動推進センター



■藤沢市民まつり関連の募集事項について

第48回藤沢市民まつり、藤沢駅前会場にブース出展をします。今回は団体の皆様から販売物を募集いたします。また、団体紹介冊子を作成して配布するほか、団体のPR動画を放映する予定です。それぞれの詳細については、別途発行のチラシをご覧ください。

募集内容：販売代行の販売物・紹介冊子への掲載・PR動画
費用：無料

定数：販売 最大6団体、冊子 最大20団体、動画 制限なし
締切：8月31日(木)まで



■湘南台駅地下パネル展示「私たちの市民活動紹介」

支援施設登録団体の活動を広く市民の皆さまに知っていただきたく、湘南台駅地下にてパネル展示を実施します。様々な団体の活動を知るチャンスです。期間中には展示団体によるトークイベントも行われますのでぜひご参加ください。

展示期間：2023年9月22日(金)～10月9日(月)

トークイベント：2023年10月7日(土) 14:00～16:00

会場：湘南台駅地下アートスクエア

■第48回藤沢市民まつりの出展について

第48回藤沢市民まつりでは、藤沢駅前会場に施設のブース出展、秋葉台会場ではNPO見本市を実施いたします。会場にお立ち寄りの際はぜひ足をお運びください。

藤沢駅前会場：9月23日(土) 10:00～18:00

9月24日(日) 10:00～16:00

秋葉台会場：9月23日(土) 9:30～16:30

発行：藤沢市市民活動支援施設

本館：市民活動推進センター

開館時間 9:00～22:00 火曜休館

※日・祝は9:00～20:00

〒251-0052

神奈川県藤沢市藤沢1031 アーバンセンター藤沢 2F

TEL: 0466-54-4510 FAX: 0466-54-4516

Eメール: f-npoc@shonanfujisawa.com



分館：市民活動プラザむつあい

開館時間 9:00～17:00 月曜休館

〒252-0813

神奈川県藤沢市亀井野4-8-1 六会市民センター2階

TEL&FAX: 0466-81-0222

Eメール: f-npoplaza@shonanfujisawa.com

編集：認定NPO法人 藤沢市民活動推進機構 (藤沢市市民活動支援施設 指定管理団体)

※この情報誌は、サポートクラブのメンバーのご協力により、皆さまのお手元に届いております！
サポーターも随時募集中です！